

科目名	ドイツ語Ⅱ	
担当者	山原 芳樹 / YAMAHARA, Yoshiki	
科目情報	外国語（ドイツ語） / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
科目概要	授業内容	前期に引き続いて重要な動詞の現在人称変化を学ぶとともに、その命令文についても学習する。また助動詞について学習し、伝えることができる表現内容の幅を広げる。さらに、前置詞について学習し、その幅広い用法に理解を深める。
	到達目標	1) 代表的な不規則動詞について現在人称変化を言うことができる。2) 命令文や依頼文を使用することができる。3) 話法の助動詞を使うことができる。4) 代表的な前置詞を使って表現することができる。
授業計画	(1) 第4課「名所旧跡」お城を訪ねる (2) 不規則動詞の現在人称変化 (1) : fahren (3) 命令文の作り方と会話練習 (4) 読解練習：ケルン大聖堂 (5) 第5課「街の中で」乗り物を利用する (6) 不規則動詞の現在人称変化 (2) : sprechen、geben、nehmen (7) 前置詞と格支配：mit dem Bus (8) 会話練習：バス、タクシー、路面電車、地下鉄 (9) 読解練習：ベルリンのS-Bahn (10) 第6課「歴史的な都市」ローテンブルクを歩く (11) 話法の助動詞：können、müssen、dürfen (12) 動詞の不定形と文章 (13) 会話練習：～したいのですが、～できる、～しなければならない (14) 読解練習：観光パンフレットの読み方 (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・授業の初めに、前回の授業内容の小テストを行う。
使用教材・参考文献	【教】『ドイツ・サラダ』保坂良子著、2011年、朝日出版社（ISBN978-4-255-25333-6 C1084） 【参】独和辞典（必ず用意すること、前期の備考を参考）	
成績評価方法と基準	<基準> ドイツ語で簡単な自己紹介ができ、総合点で60点以上を取得した者は合格とする。 <方法> 受講態度20点、小テスト20点、期末試験60点。	
備考	・ドイツ語Iを履修した者が受講できる。 ・教員が指示する『読書』課題の遂行を、成績評価を受けるための前提とする。詳細は、初回の授業で説明する。	